平成 24 年 11 月 5 日

各　　位

会社名	タカラバイオ株式会社 （コード番号 4974　東証マザーズ）
本社所在地	滋賀県大津市瀬田三丁目４番１号
代表者	代表取締役社長　　仲 尾　功 一
問合せ先	代表取締役副社長　木 村　　睦
ＴＥＬ	（０７７）５４３-７２１２
ＵＲＬ	http://www.takara-bio.co.jp/
親会社等の名称	宝ホールディングス株式会社
代表者	代表取締役社長　　柿 本　敏 男 （コード番号 2531 東証、大証 1 部）

細胞医療用抗体のGMP製造施設を中国子会社に新設

タカラバイオ株式会社の子会社である宝日医生物技術（北京）有限公司（中国北京市、以下「宝日医」）は、がん免疫細胞療法等に用いられる抗体等の GMP 製造（医薬品の製造管理、品質管理基準に準拠した製造）施設を現有する工場内に新設します。投資額は約１億 5,000 万円で、2013 年 7 月の完成を予定しています。

宝日医は、がん免疫細胞療法用の培地やバッグを中国の医療機関向けに販売しています。中国では、がん免疫細胞療法が広がりを見せ、細胞医療用培地・バッグ製品の売上は急速に拡大しつつあります。

今般、宝日医は、細胞医療事業をさらに拡大するため、がん免疫細胞療法で投与されるリンパ球の培養（体外で活性化、増殖）に必須である抗 CD3 モノクローナル抗体等のタンパク質製品の GMP 製造を行う施設を、2010 年 7 月に建設した工場棟内に新設します。2014 年初めに製造販売を開始する計画で、細胞医療向けの製品群を拡充することにより、今後市場拡大が見込まれる中国における細胞医療事業において、確固たる地位を築いていきたいと考えています。

当社は、2014 年 3 月に日本国内に完成予定のベクター及び細胞調製用の GMP 製造施設と、今回新設する中国でのタンパク質の GMP 製造施設を有効活用し、再生医療やバイオ医薬品向けのタンパク質、ベクター等の GMP 製造受託サービス事業を拡大していきたいと考えています。

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

＜参考資料＞

【宝日医生物技術（北京）有限公司の概要】

所在地　　：中国北京市昌平区科学園路 22 号（中関村生命科学園内）
代表者　　：仲尾　功一（董事長）
設立時期　：2004 年 1 月
資本金　　：10 億 3,000 万円（当社 100%）
従業員数　：31 名（2012 年 9 月 30 日現在）
事業概要　：バイオ医薬の研究開発、バイオ研究用試薬・機器の輸出入及び卸売、バイオ研究用試薬、理化学機器の製造・販売
ホームページ：http://www.takarabiomed.com.cn

【語句説明】

GMP 製造

GMP 準拠で製造を行う事。GMP とは、Good Manufacturing Practice の略で、医薬品を製造する際に遵守すべき「医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理規則」を指します。GMP は、安全で品質が担保された医薬品を供給するため、医薬品の製造時の管理、遵守事項を各国の規制当局が定めたものです。

がん免疫細胞療法

がん免疫細胞療法は、患者自身のリンパ球を、自身のがん細胞を攻撃できるように体外で活性化し、その細胞数を増やしてから、患者の体内に再び戻し、がん細胞を破壊に導くというものです。外科手術、放射線治療、化学療法などと比較して、一般的に副作用が少ないと言われています。

抗 CD3 モノクローナル抗体

CD3 はヒトリンパ球上に存在する表面抗原分子の一つで、この CD3 分子を特異的に認識する均一分子の抗体。抗 CD3 モノクローナル抗体が T リンパ球上の CD3 分子に結合すると、T 細胞が活性化されると考えられています。

ベクター

目的遺伝子をバクテリアや細胞に導入するための分子。プラスミドベクター、ウイルスベクターなどがあります。

以上